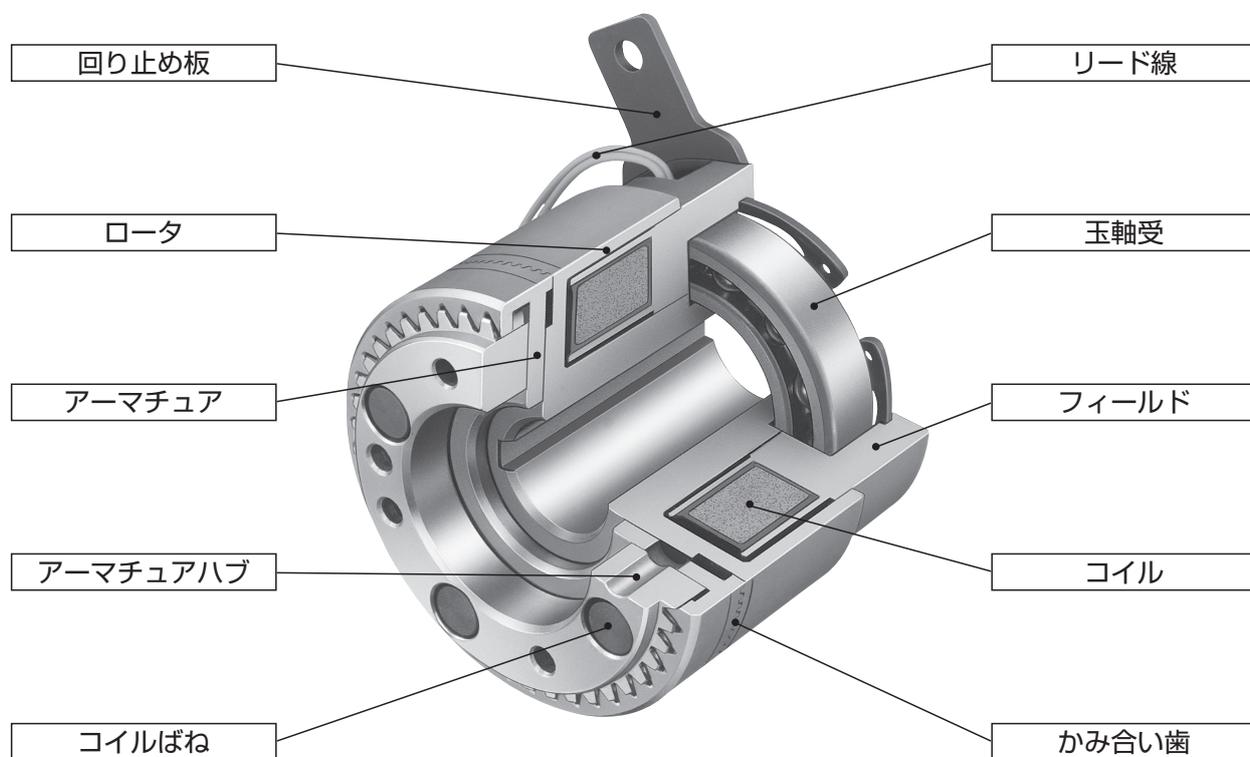


# 構造と動作

フィールド（静止部）、ロータ（回転部）およびアーマチュアハブ組立（回転部）の主要3部品で構成されており、ロータとアーマチュアの吸引面には、かみ合い歯を形成しています。50形以下はフィールドがロータに玉軸受で支持された回り止め方式、100形以上はフランジ取付け方式です。

コイルに通電すると、フィールド、ロータおよびアーマチュア間に磁束を発生し、アーマチュアはロータに吸引されて、両方の歯がかみ合い、クラッチは連結します。

励磁を切ると、コイルばねによりアーマチュアは切り離されて、クラッチは解放します。



MZ形 クラッチ

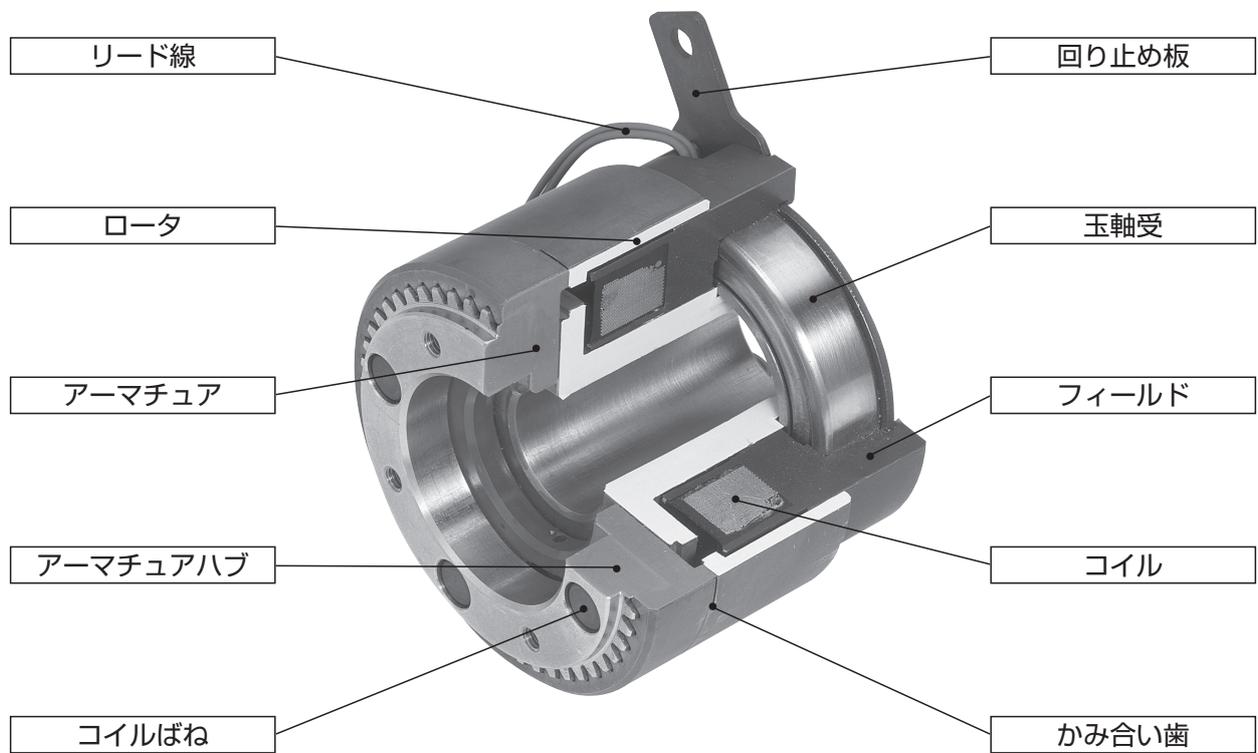
# 構造と動作

フィールド（静止部）、ロータ（回転部）およびアーマチュアハブ組立（回転部）の主要3部品で構成されており、ロータとアーマチュアの吸引面には、かみ合い歯を形成しています。

コイルに通電すると、フィールド、ロータおよびアーマチュア間に磁束を発生し、アーマチュ

アはロータに吸引されますが、特殊ローラにより定位置になるまで歯はかみ合いません。定位置になると、歯のかみ合いによりトルクを伝達します。

励磁を切ると、コイルばねによりアーマチュアは切り離されて、クラッチは解放します。



MZS形 クラッチ

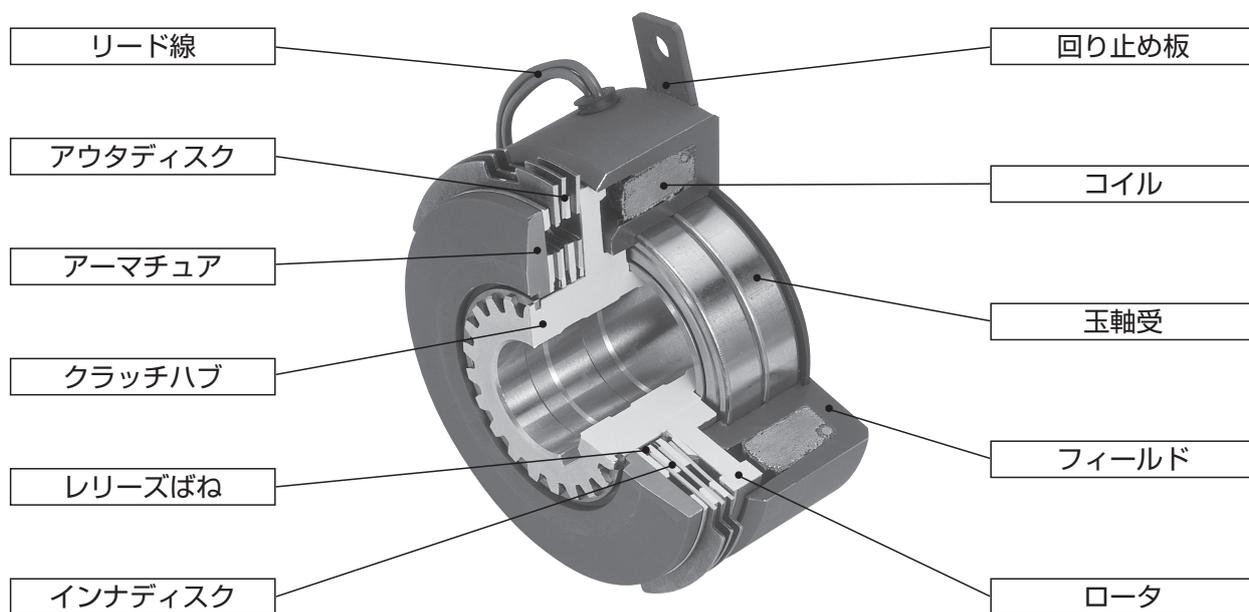
# 構造と動作

クラッチは、ロータと一体になったクラッチハブのスプラインに、インナディスク、アウトディスクおよびリリースばねを交互に入れ、最後にアーマチュアを組み込んだもので、フィールドはクラッチハブに玉軸受で支持されています。アウトディスク外周のラグ部にカップリングを嵌合して、トルクを伝達します。

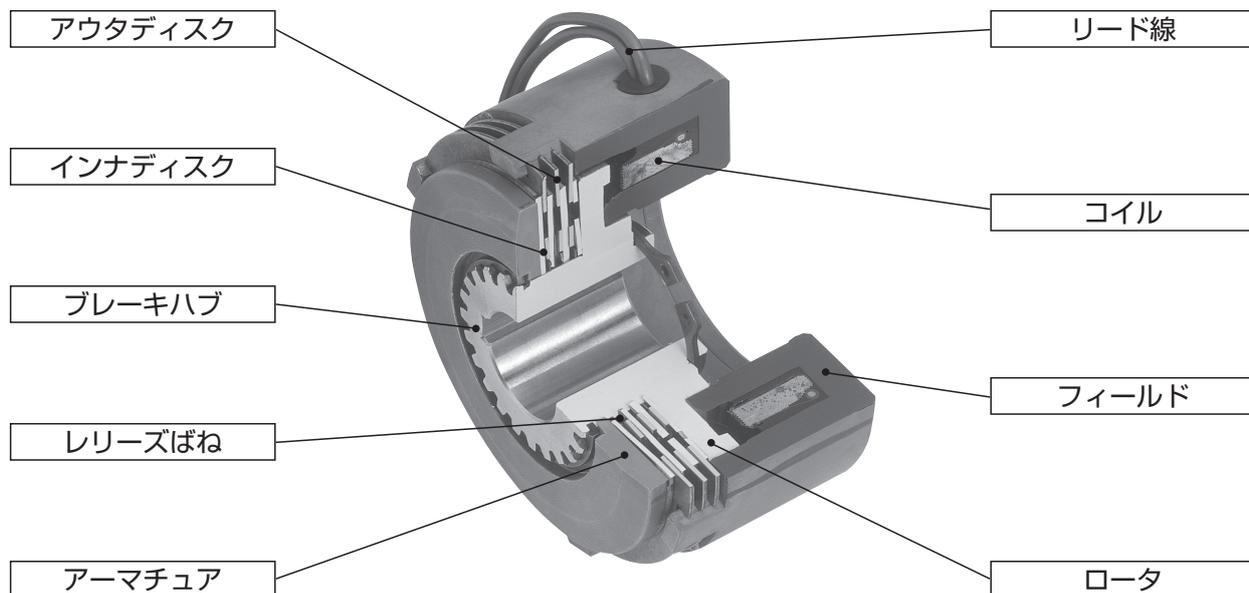
ブレーキは、ロータと一体になったブレーキハブのスプラインに、インナディスク、アウトディスクおよびリリースばねを交互に入れ、最後

にアーマチュアを組み込んだもので、アウトディスク外周のラグ部にフィールドのカップリング部が嵌合しています。

コイルに通電すると、フィールド、ロータ、ディスクおよびアーマチュアに磁束が流れ、アーマチュアおよびディスクがロータに吸引され、クラッチは連結します。励磁を切ると、リリースばねによりディスクは分離し、クラッチは解放します。ブレーキの動作も同様です。



MDC形 クラッチ



MDB-N形 ブレーキ

# 構造と動作

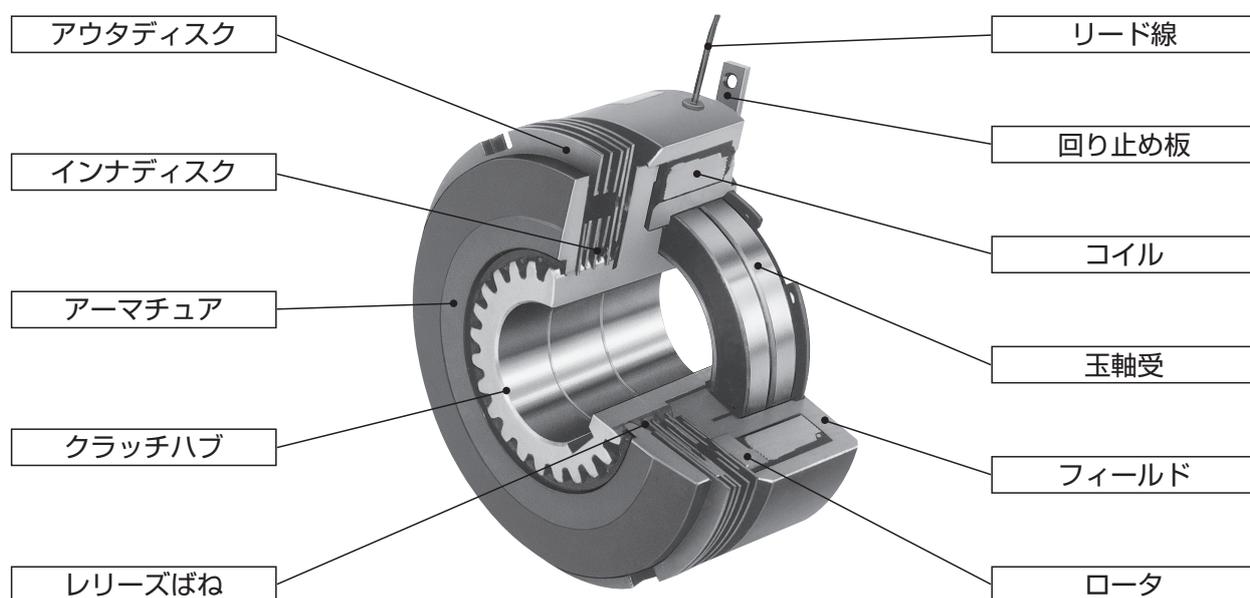
クラッチは、ロータと一体となったクラッチハブのスプラインに、インナディスク、アウトディスクおよびリリースばねを交互に入れ、最後にアーマチュアを組み込んだもので、フィールドはクラッチハブに玉軸受で支持されています。アウトディスク外周のラグ部にカップリングを嵌合して、トルクを伝達します。

ブレーキは、フィールドに固定されたアウトストッパに、アウトディスクとインナディスクおよびリリースばねを交互に入れ、最後にアーマ

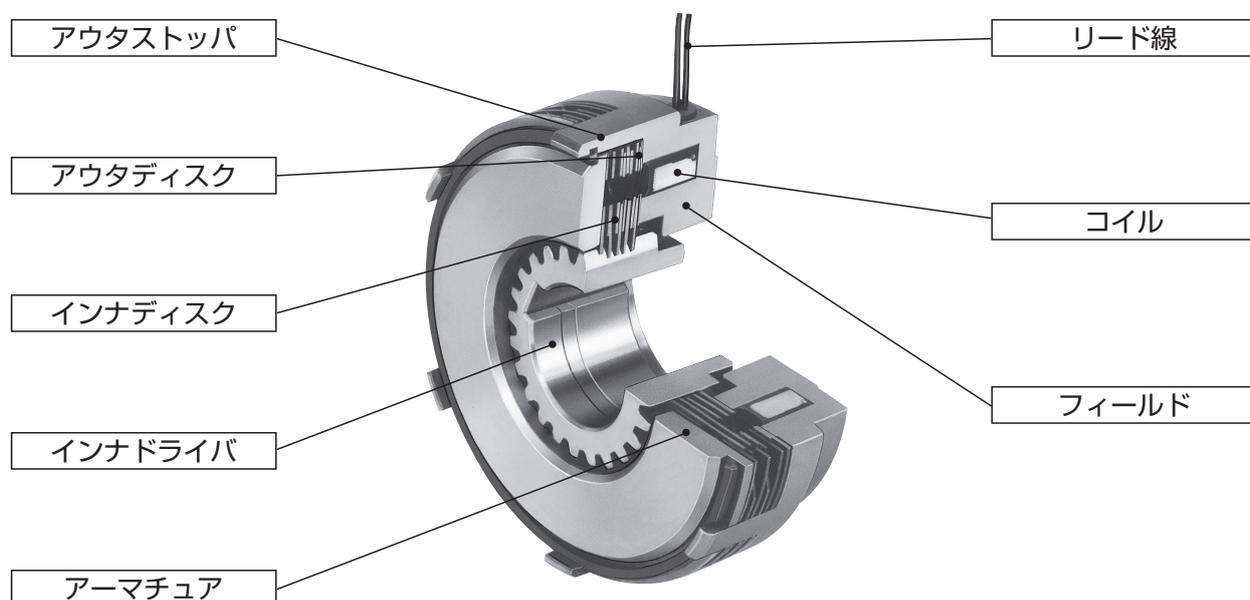
チュアを組み込んだもので、インナディスクのスプラインにインナドライバが嵌合しています。

コイルに通電すると、フィールド、ロータ、ディスクおよびアーマチュアに磁束が流れ、アーマチュアおよびディスクがロータに吸引され、クラッチは連結します。励磁を切ると、リリースばねによりディスクは分離し、クラッチは解放します。

ブレーキの動作も同様です。



MWC形 クラッチ



MWB形 ブレーキ